

高1 哲学プログラム

テクノロジーの飛躍的発展や急速なグローバル化などにより、これまでの常識や考え方が有効性を失っている現代において、われわれ人間はどのように考え、生きていけばよいのでしょうか。高校1学年では今年度、哲学という知のモデルを使い、こうした現代社会ならではの課題と向き合っていく「哲学プログラム」を実施します。

5月10日（金）のHRでは、その第一弾として、中学3年時の社会で取り組んだ発表課題について、情報共有、まとめ、新たな課題の抽出を行いました。「世界の対立や不平等を克服することは可能だろうか」、「地球温暖化をくいとめることはできるのか」、「日本は女性が活躍できる社会になれるか」などのテーマについて、生徒たちは活発に意見を交換し、教室の黒板やホワイトボードを駆使して議論を深めていました。

夏のHR研修では、今回のテーマから発展させた新テーマ「いのち」「環境」「幸福」「正義」「平等」「自由」に関してディスカッションを行います。それまでに関連書籍を読んだり、講演会やワークショップに参加したりして、一人ひとりが主体的に自分自身のことばで発言できるよう、準備を重ねていく予定です。

